

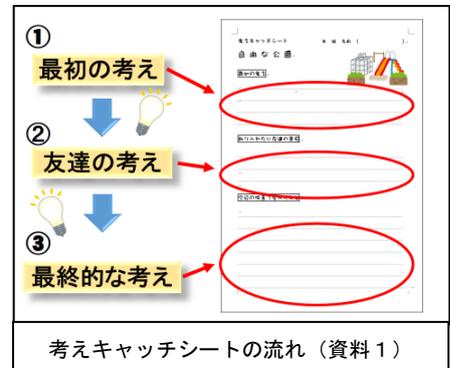
## 実践記録（小6・道徳）

### 1 ねらい

友達と考えを交流し、肯定意見や否定意見を考えることで、それぞれの考えを深めることができるようにする。

### 2 手立て

- ・ 「考えキャッチシート」に自分の考えを記入する。（資料1）
- ・ 「考え交流シート」をグループに1枚配布し、付箋紙を活用して互いの考えを整理する。（資料2）
- ・ どの意見に対しても「肯定意見」と「否定意見」を考え、指定した箇所に張り付ける
- ・ 友達と情報を交流することにより、1人では気付くことができなかった情報を収集し、それを基に深まった自分の考えを、「考えキャッチシート」に記述する。

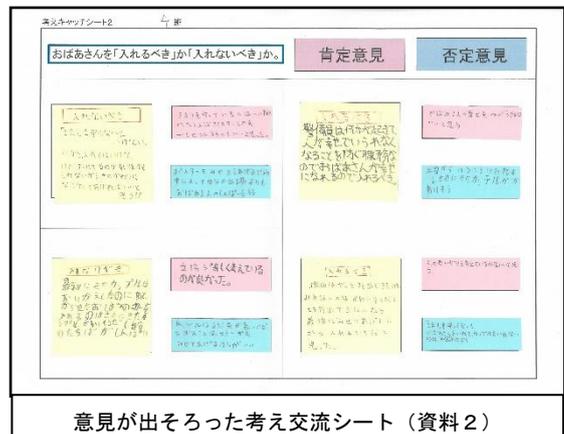


### 3 実践の様子

始めに、NHK for School「ココロ部！」より、「遅れてきた客」を視聴した。動画のポイントとして、おばあさんは閉館時間に間に合わず、思い出の絵を見られなかったこと、間に合わなかった理由は列車の遅延であること、おばあさんは病気で余命が少ないこと、思い出の絵は今日までしか展示されないことなどを確認した。

児童は、自分が警備員の立場ならば、おばあさんを館内に入れるか入れないかを考え、自分の最初の考えを「考えキャッチシート」に記入した。その後、配布された「考え交流シート」と付箋紙を活用し、小グループを作って考えを交流した。児童は、「考え交流シート」に肯定意見や否定意見を貼りながら、「おばあさんがかわいそうだから入れてあげようよ。」「いや、警備員なんだから自分の仕事をしなくちゃいけないよ。入れちゃいけないと思うな。」などと、互いに考えを交流した。

おばあさんの気持ちを優先して思いやりを大切にすべきか、仕事の責任や規則を優先してきまりを守るべきか、どちらが大切なのか迷いつつも、情報をまとめながら考えを交流することで、それぞれの考えを深めることができた。（資料2・3）



### 4 成果と課題

- 肯定意見と否定意見を考えることで、それぞれの意見のメリットやデメリットに気付くことができ、様々な情報を得たうえで、自分の考えを深めることができた。
- 「考え交流シート」は考えを視覚化でき、考えを交流させるのに役立った。しかし、情報の整理や分析が十分にできなかった班もあったので、付箋紙を貼り替えて情報を整理し直しながら交流ができるように、シートの形を改良していきたい。